

助教
永野 英美

■ 学歴 修士

1.

■ 学位 修士（看護学）

1.

■ 研究分野

1. 小児看護学
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 小児
2. 医療的ケア児
3. 医療関連機器圧迫創傷

■ 研究課題

1. 医療的ケア児を訪問する看護師の支援
2. NICU・GCU 看護師の支援

■ 担当授業科目

※該当なし（2024 年度入職）

■ 授業を行う上で工夫した事項

※該当なし（2024 年度入職）

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2007 年～現在に至る	日本看護協会	会員
2.	2007 年～現在に至る	福岡県看護協会	会員
3.	2021 年～現在に至る	九州・沖縄小児看護教育研究会	会員
4.	2023 年～現在に至る	日本看護科学学会	会員
5.	2023 年～現在に至る	日本小児看護学会	会員

■ 研究業績等に関する事項（2023 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
(著書)					
1.					
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.	2023 年 12 月			第 43 回日本看 護科学学会学術 集会	医療的ケア児の医療関連機器圧迫創傷 ケア経験における訪問看護師の医療関 連機器圧迫創傷予防ケアの実態につい て発表を行った。
(その他)					
1.	2021 年度		共	メディカ出版看 護師国家試験 解説執筆	出版社から第 111 回看護師国家試験問題 解説の依頼を受け、小児看護学に関する 問題 4 問の解説を行った。
2.	2022 年度		共	メディカ出版看 護師国家試験 解説執筆	出版社から第 112 回看護師国家試験問題 解説の依頼を受け、小児看護学に関する 問題 4 問の解説を行った。
3.	2023 年度		共	メディカ出版看 護師国家試験 解説執筆	出版社から第 113 回看護師国家試験問題 解説の依頼を受け、小児看護学に関する 問題 4 問の解説を行った。

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外 者	交付決定額 （単位：円）

1.	プラダーウィリ症候群児の養育者への睡眠時無呼吸に対する療養支援プログラムの構築	文部科学省 基盤研究 (C)	(○飯野 英親、得能智武、中村 加奈子、青野 広子) <u>永野 英美</u>	
2.	気になる子ども・神経発達症児と親の親子関係再構築の要因 -PCIT の実施から-		(○青野 広子、鳥巢浩幸、笠原 亜希子、岡田 賢司、飯野 英親) <u>永野 英美</u>	
3.				

(2) 個人研究

	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考
1.	NICU・GCU 入院中の児の医療関連機器圧迫創傷予防に向けた看護実践に関する実態調査	日本看護科学学会 2023 年度 挑戦的 課題研究助成	500,000	
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.	2023 年度	第 43 回日本看護科学学会学術集会 (実行委員として会場アナウンス担当)	
2.			
3.			

■ 学内における活動等 (役職、委員、学生支援など)

※該当なし (2024 年度入職)